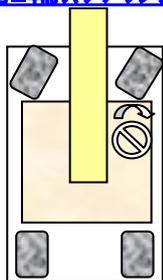


新年あけまして、おめでとうございます。本年も国際サービスシステムを宜しくお願いします。昨年クリスマスが過ぎ、後は大晦日を待つばかりと思っていた矢先にスマトラ沖地震の津波がおき、現在犠牲者の総数が15万人を超えたと報道されています。年末に最大級の暗いニュースがおきてしまい、今年は少しでも暗いニュースが少なくなることを祈るばかりです。さて年明け最初のお話ですが、昨年12月9日に読売新聞のニュースで取り上げられ、タノ・コベルコ両社がリコールの届出をした問題の逆ステアリングについてお話ししたいと思います。

VOL.56 逆ステアリングの話

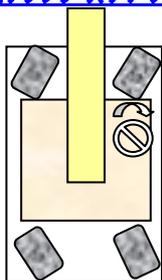
ご存知のとおり、ラフタークレーンは狭い道路や現場での進入・移動性を良くするために特殊ステアリングができるようになっています。ステアリングモードの種類は下の絵の4種類と今問題になっている逆ステアリングがあります。下の絵を見れば分かるように、一般の車との違いは後輪が操舵できるようになっている点で、当然特殊ステアリングモードは各メーカーとも**一般道路を走行する場合には禁止**されています。

前2輪ステアリング



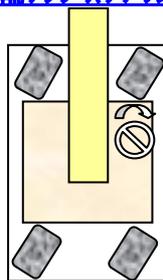
* 前2輪で操舵を行う通常のステアリングモードで、**一般道路走行用のステアリングモード**です。

4輪クランプステアリング



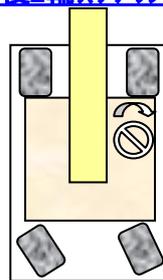
* 前輪と後輪が逆方向に操舵され、最小回転半径が小さくなり、狭い場所の進入・移動に便利なステアリングです。

4輪クランプステアリング



* 前輪と後輪が同じに操舵され、斜めに走行でき、幅寄せに便利です。カニステアリングとも呼ばれています。

後2輪ステアリング

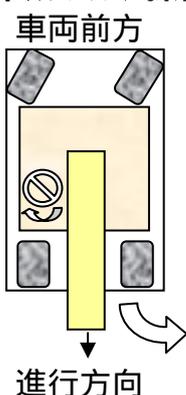


* 後2輪だけで操舵を行うモードで、狭い場所からの脱出に便利です。フォークリフトと同じステアリングです。

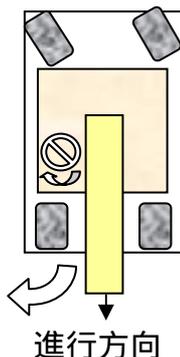
逆ステアリング

* 逆ステアリング操作は通常、上部旋回体を後方位置に旋回させた場合に使用するステアリングモードです。下の絵のように、上部旋回体を後方位置に旋回させた状態で通常のステアリングモードで操舵した場合操舵方向が逆になります。それを**補正するために逆ステアリングモード**が設けられています。

上部旋回体: 車両後方 通常ステアリング操作



上部旋回体: 車両後方 逆ステアリング操作



今回事故を起こし問題となった、タノ製ラフタークレーンの逆ステアリング操作をするには、逆ステアリングスイッチをONにして上部旋回体が後方位置に向いていなければ逆ステアリング操作は出来ない構造になっていましたが、逆ステアリングスイッチを戻し忘れた状態で後方位置を検出するスイッチが故障したため、一般道路を走行中にハンドル操作とは逆の方向に車が曲がり重大事故が発生してしまいました。両メーカー共、この事故の重大性を真摯に受け止めリコールの届出がされました。リコールの内容はタノ製ラフタークレーンでは、

昭和58年4月30日～平成10年6月4日間に製造された、TR-80M.TR-100M.TR-160M.TR-200M.TR-250M TR-350M.TR-400M.TR-500Mで15,278台が対象となっています。改善内容としては、後方位置を検出するスイッチに故障が生じて、逆ステアリングモードにならないようにする事と警報ブザーにより警告する回路に変更するという内容です。コベルコ製ラフタークレーンでは、平成元年8月31日～平成7年4月27日間に製造されたRK70.RK70Mで2,544台が対象となっています。改善内容としては、逆ステアリングスイッチが作動している場合、警告する警報ブザーを取付する事と誤操作防止カバー又はしきり板を取付するという内容です。

現在、国際サービスシステムに両メーカーからリコールの実施依頼がきており、順次実施するようにしていますが型式により対策部品が揃っておらず、ご迷惑をおかけしております。両メーカーのラフタークレーン共逆ステアリングスイッチの戻し忘れと誤操作が事故の主たる原因ですのでリコールの対策工事が行われるまでは、くれぐれも**逆ステアリングスイッチの操作には注意が必要です。**

お知らせ

今年から自動車リサイクル法がスタートしました。現在ご使用になっている車は、継続車検時にリサイクル料金の支払いが必要になります。

ご不明な点、分からない事等ありましたら是非ご相談ください。